

令和2年12月

シルバー世代アンケート調査

行政情報の入手方法等に関する調査

報告書

目 次

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の設計	1
(3) 回収結果	1
2 回答者の属性	2
(1) 年齢の内訳	2
(2) 居住地区の内訳	3
(3) 世帯構成	4
3 調査結果	5
(1) 市の情報の入手方法（日常）	5
(2) 市の情報の入手方法（緊急時）	7
(3) 市メール「メールねやがわ」、市アプリ「もっと寝屋川」の認知度	9
(4) 「知っていたが、登録していない」又は「知らない。今後も登録しない」理由	11
(5) あなたが持っている情報通信機器	13
(6) 市からの緊急情報を入手しやすい媒体(モノ)	15
4 資料	17

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、新型コロナウイルス感染症に関する情報を始め、緊急的な情報を市民に迅速かつ適切に伝達するに当たり、シルバー世代における行政情報の入手方法等の把握を目的に実施したものである。

本調査で得た結果については、今後の施策・事業を推進するに当たっての参考とする。

(2) 調査の設計

調査対象	寝屋川市内に在住する 65 歳以上で構成される世帯の市民（令和 2 年 8 月 1 日現在）
標本数	3,500 人
抽出方法	単純無作為抽出
抽出台帳	住民基本台帳
調査方法	郵送配布・郵送回収による郵送調査法
調査時期	令和 2 年 9 月 28 日（月）～令和 2 年 10 月 12 日（月）

(3) 回収結果

有効配布数	3,470 件
有効回収数	2,506 件
有効回収率	72.2%

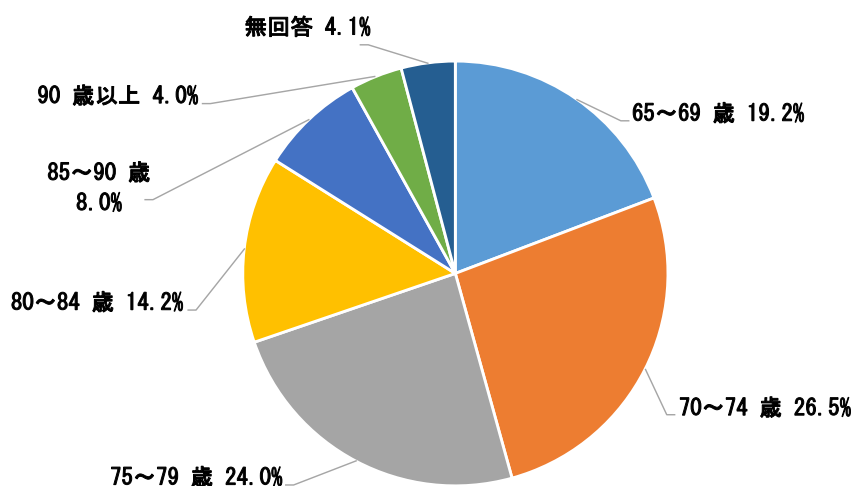
2 回答者の属性

(1) 年齢の内訳

回答者を年代別にみると、70～74 歳が 26.5%と最も高く、次いで 75～79 歳が 24.0%の順となっている。

年齢	人数(人)	割合(%)
65～69 歳	481	19.2
70～74 歳	663	26.5
75～79 歳	602	24.0
80～84 歳	355	14.2
85～90 歳	202	8.0
90 歳以上	99	4.0
不明	104	4.1
合計	2,506	100.0

N=2,506

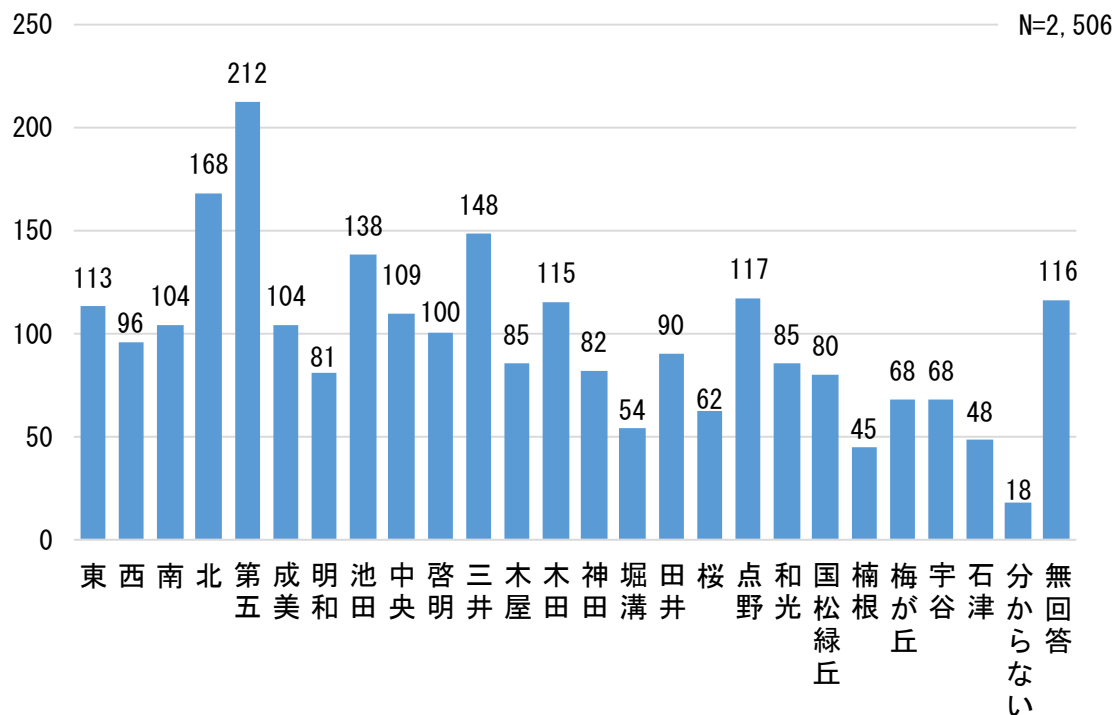


(2) 居住地区の内訳

回答者を小学校区別にみると、第五小学校区が 8.5%と最も高く、次いで北小学校区が 6.7%の順となっている。

小学校区	人数(人)	割合(%)
東	113	4.5
西	96	3.8
南	104	4.2
北	168	6.7
第五	212	8.5
成美	104	4.2
明和	81	3.2
池田	138	5.5
中央	109	4.3
啓明	100	4.0
三井	148	5.9
木屋	85	3.4
木田	115	4.6

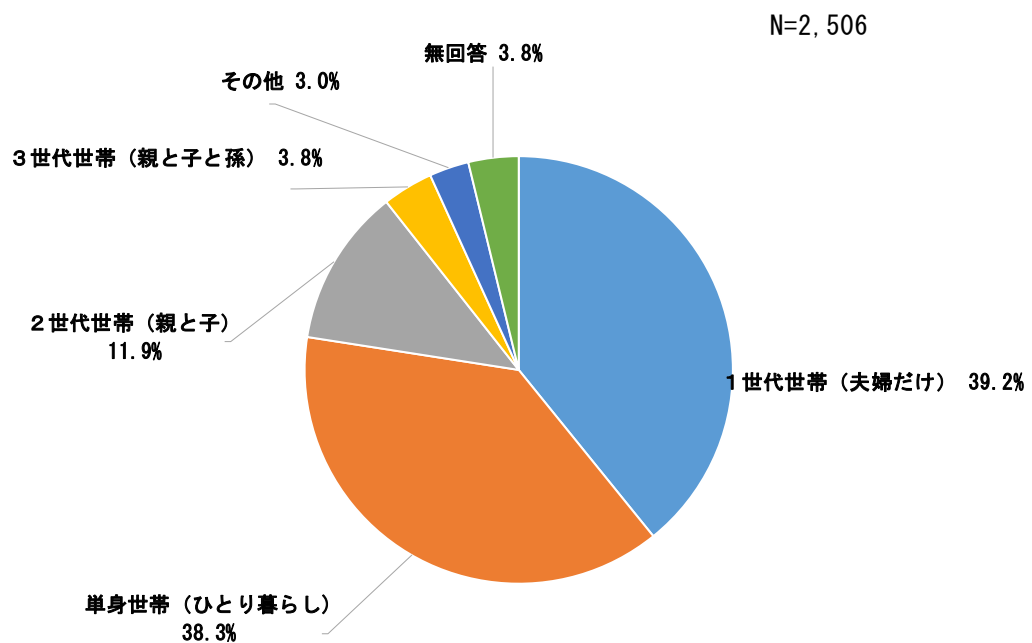
小学校区	人数(人)	割合(%)
神田	82	3.2
堀溝	54	2.2
田井	90	3.6
桜	62	2.5
点野	117	4.7
和光	85	3.4
国松緑丘	80	3.2
楠根	45	1.8
梅が丘	68	2.7
宇谷	68	2.7
石津	48	1.9
分からない	18	0.7
無回答	116	4.6
合計	2,506	100.0



(3) 世帯構成

回答者の世帯構成別にみると、1世代世帯（夫婦だけ）が 39.2%と最も高く、次いで単身世帯（ひとり暮らし）が 38.3%の順となっている。

年齢	人数(人)	割合(%)
1 世代世帯（夫婦だけ）	981	39.2
単身世帯（ひとり暮らし）	960	38.3
2 世代世帯（親と子）	299	11.9
3 世代世帯（親と子と孫）	96	3.8
その他(施設入所、兄弟・姉妹で同居 他)	75	3.0
無回答	95	3.8
合計	2,506	100.0



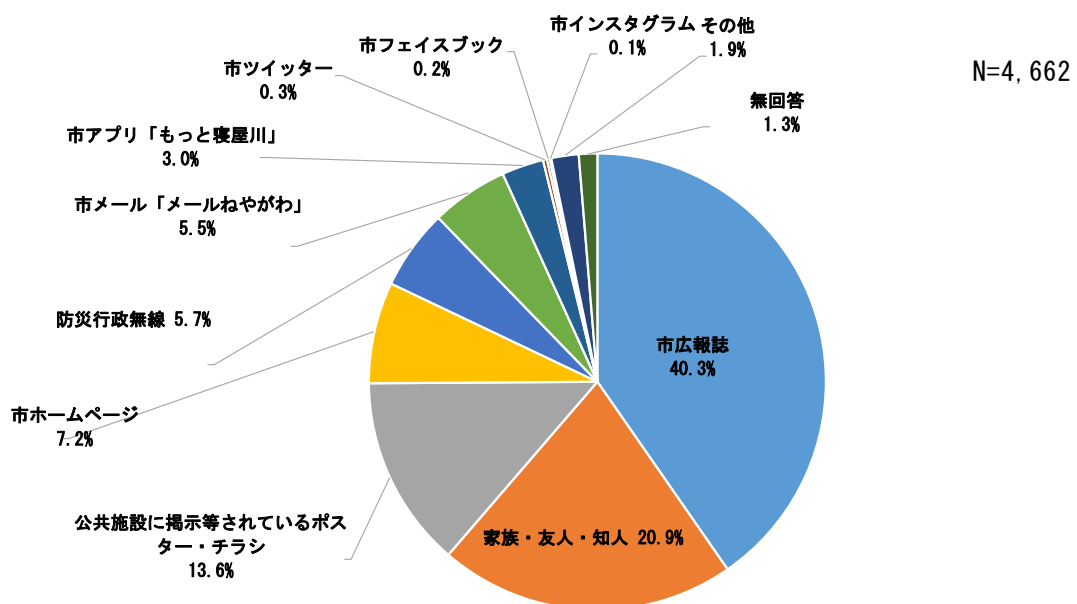
3 調査結果

(1) 市の情報の入手方法（日常）（複数回答）

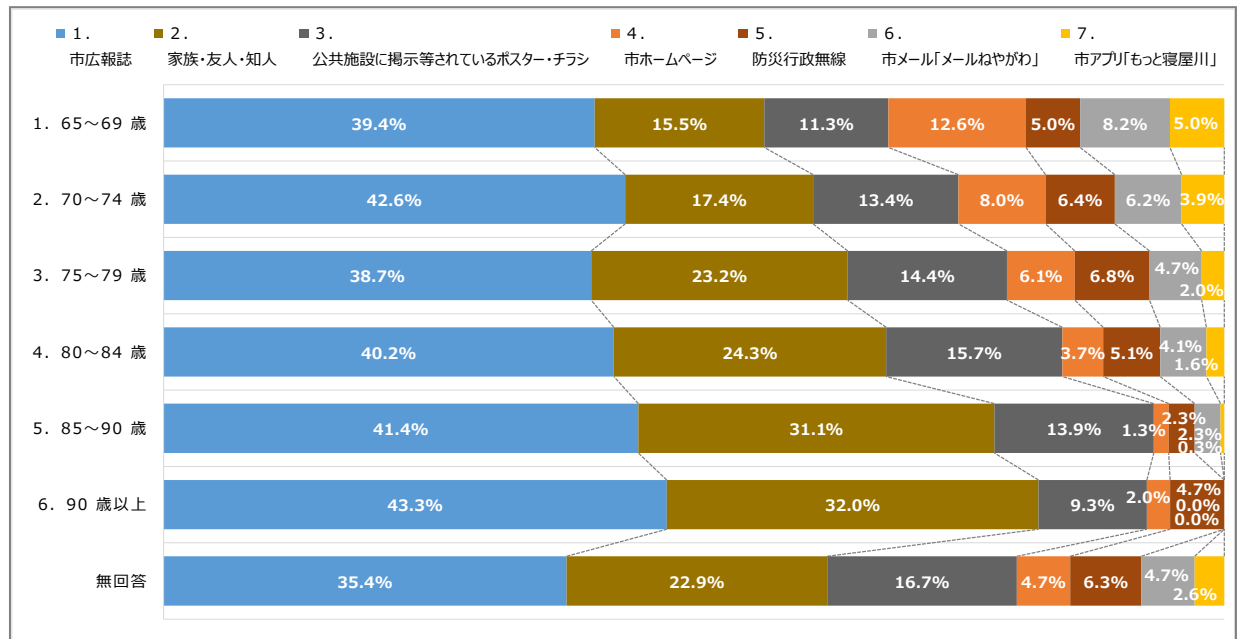
ア 単純集計

「日ごろ」市の情報をどのように入手しているかについて、「市広報誌」が 40.3%と最も高く、次いで「家族・友人・知人」が 20.9%の順となっている。

	人数(人)	割合(%)
1 市広報誌	1,878	40.3
2 家族・友人・知人	975	20.9
3 公共施設に掲示等されているポスター・チラシ	632	13.6
4 市ホームページ	334	7.2
5 防災行政無線	264	5.7
6 市メール「メールねやがわ」	254	5.5
7 市アプリ「もっと寝屋川」	138	3.0
8 市ツイッター	13	0.3
9 市フェイスブック	12	0.2
10 市インスタグラム	5	0.1
11 その他(新聞、テレビ、ラジオ、回覧版 等)	91	1.9
12 無回答	66	1.3
合計	4,662	100.0



イ 年代別クロス集計



	1. 市広報誌	2. 家族・友人・知人	3. 公共施設に掲示等されている ポスター・チラシ	4. 市ホームページ	5. 防災行政無線	6. 市メール「メールねやがわ」	7. 市アプリ「もっと寝屋川」	8. 市ツイッター	9. 市フェイスブック	10. 市インスタグラム	11. その他	無回答	合計
1. 65～69 歳	39.4%	15.5%	11.3%	12.6%	5.0%	8.2%	5.0%	0.5%	0.4%	0.0%	1.8%	0.3%	100.0%
2. 70～74 歳	42.6%	17.4%	13.4%	8.0%	6.4%	6.2%	3.9%	0.2%	0.2%	0.1%	0.9%	0.7%	100.0%
3. 75～79 歳	38.7%	23.2%	14.4%	6.1%	6.8%	4.7%	2.0%	0.3%	0.3%	0.3%	1.7%	1.5%	100.0%
4. 80～84 歳	40.2%	24.3%	15.7%	3.7%	5.1%	4.1%	1.6%	0.0%	0.2%	0.0%	2.7%	2.4%	100.0%
5. 85～90 歳	41.4%	31.1%	13.9%	1.3%	2.3%	2.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	3.5%	100.0%
6. 90 歳以上	43.3%	32.0%	9.3%	2.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	3.3%	100.0%
無回答	35.4%	22.9%	16.7%	4.7%	6.3%	4.7%	2.6%	1.0%	0.5%	0.5%	2.1%	2.6%	100.0%

※ 上位7項目を抜粋してグラフに記載

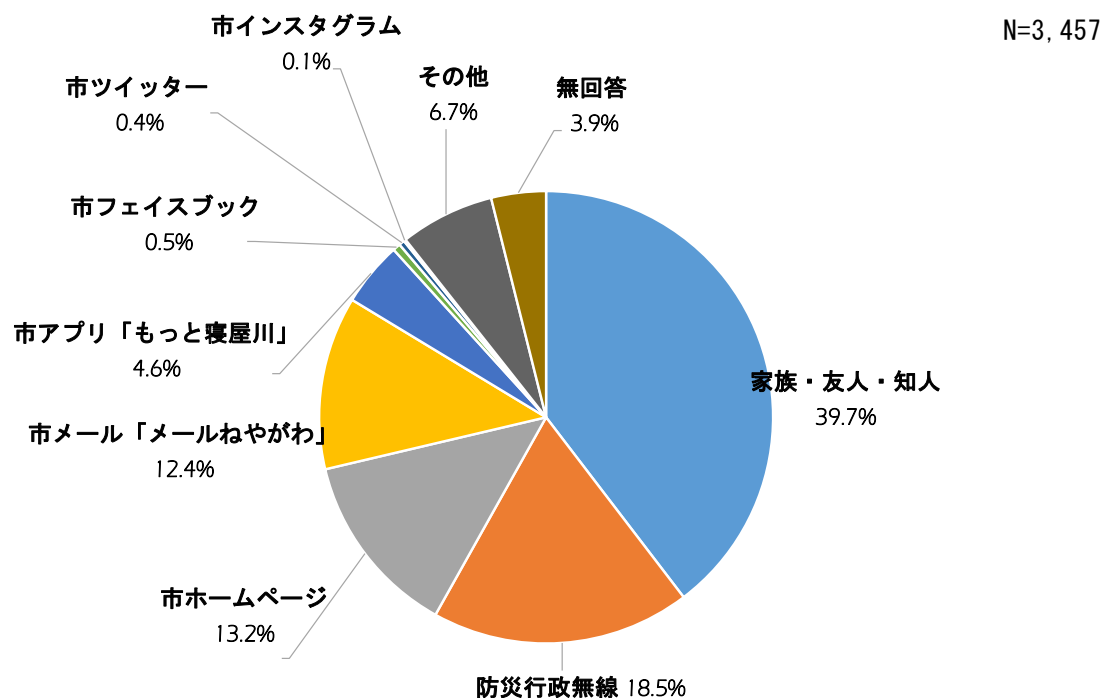
【考察】

- ・ 日頃の情報入手方法は、いずれの年代も「市広報誌」を主たる媒体とし、続いて、「家族・友人・知人」「公共施設に掲示等されているポスター・チラシ」など、日常的に触れる機会の多い、身の回りの身近な媒体等を頼りにされていることが考えられる。
- ・ 一方、「市ホームページ」「メールねやがわ」「もっと寝屋川」等での情報入手は、それぞれ1割にも満たないため、シルバー世代の中で浸透されていないと考えられる。

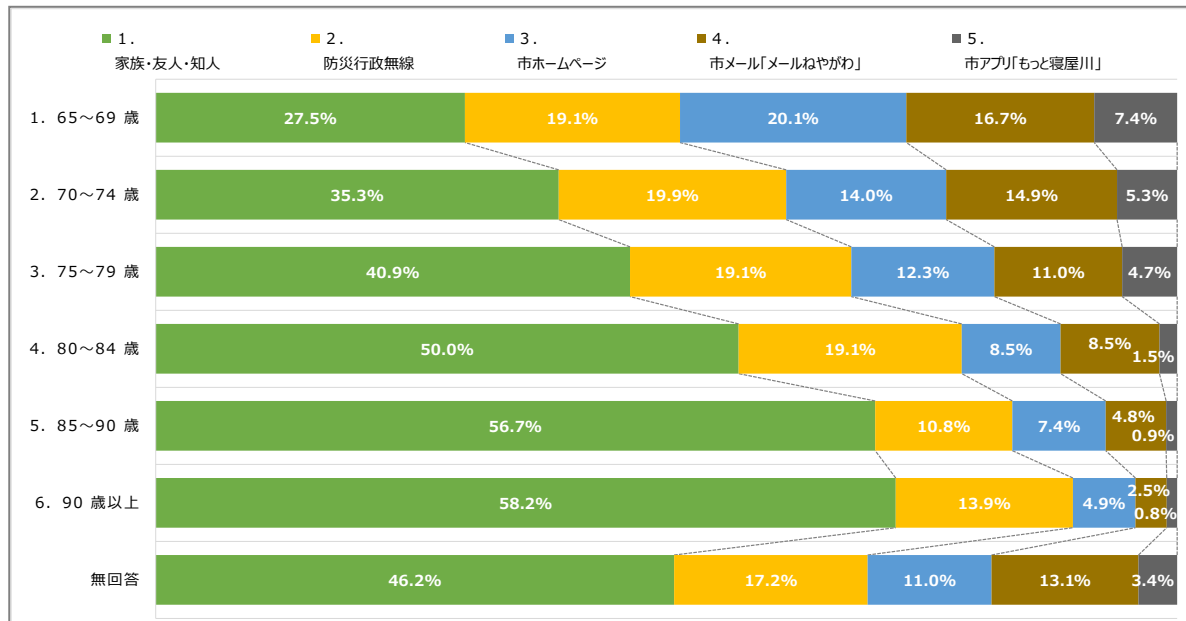
(2) 市の情報の入手方法（緊急時）（複数回答）

「緊急時」に市の情報をどのように入手しているかについて、「家族・友人・知人」が39.7%と最も高く、次いで「防災行政無線」が18.5%の順となっている。

	人数(人)	割合(%)
1 家族・友人・知人	1,373	39.7
2 防災行政無線	640	18.5
3 市ホームページ	457	13.2
4 市メール「メールねやがわ」	425	12.4
5 市アプリ「もっと寝屋川」	157	4.6
6 市フェイスブック	19	0.5
7 市ツイッター	13	0.4
8 市インスタグラム	5	0.1
9 その他(テレビ、ラジオ、携帯電話のエリアメール 他)	233	6.7
10 無回答	135	3.9
合計	3,457	100.0



イ 年代別クロス集計



	1. 家族・友人・ 知人	2. 防災行政無 線	3. 市ホー ムページ	4. 市メール「メ ールねやがわ」	5. 市アプリ「も っと寝屋川」	6. 市フェイスブ ック	7. 市ツイッ ター	8. 市インス タグラム	9. その他	無回答	合計
1. 65～69 歳	27.5%	19.1%	20.1%	16.7%	7.4%	0.3%	0.6%	0.0%	6.0%	2.3%	100.0%
2. 70～74 歳	35.3%	19.9%	14.0%	14.9%	5.3%	0.7%	0.3%	0.2%	6.5%	2.9%	100.0%
3. 75～79 歳	40.9%	19.1%	12.3%	11.0%	4.7%	0.9%	0.6%	0.4%	6.2%	3.9%	100.0%
4. 80～84 歳	50.0%	19.1%	8.5%	8.5%	1.5%	0.2%	0.2%	0.0%	5.7%	6.3%	100.0%
5. 85～90 歳	56.7%	10.8%	7.4%	4.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	12.6%	6.8%	100.0%
6. 90 歳以上	58.2%	13.9%	4.9%	2.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	13.1%	6.6%	100.0%
無回答	46.2%	17.2%	11.0%	13.1%	3.4%	0.7%	0.0%	0.0%	4.9%	3.5%	100.0%

※ 上位 5 項目を抜粋してグラフに記載

【考察】

- ・ 緊急時での情報入手方法は、いずれの年代も「家族・友人・知人」を主としており、他の媒体と比較して割合が顕著に高いことから、機器等の“モノ”ではなく、身近な“人”を頼りにされていることが考えられる。
- ・ 「家族・友人・知人」に続いて、防災行政無線の割合が高いことから、防災行政無線は緊急時における情報提供媒体として有効であると考えられる。
- ・ 一方、「市ホームページ」「メールねやがわ」はそれぞれ約 1 割、「もっと寝屋川」に関しては 1 割にも満たない状況であり、日頃の情報入手方法と同様、シルバー世代の中で浸透していないと考えられる。

(3) 市メール「メールねやがわ」、市アプリ「もっと寝屋川」の認知度

市メール「メールねやがわ」、市アプリ「もっと寝屋川」の認知度について、「知らない。今後とも登録しない」が 35.8%と最も高く、次いで「知っていたが、登録していない」が 24.8%の順となっている。

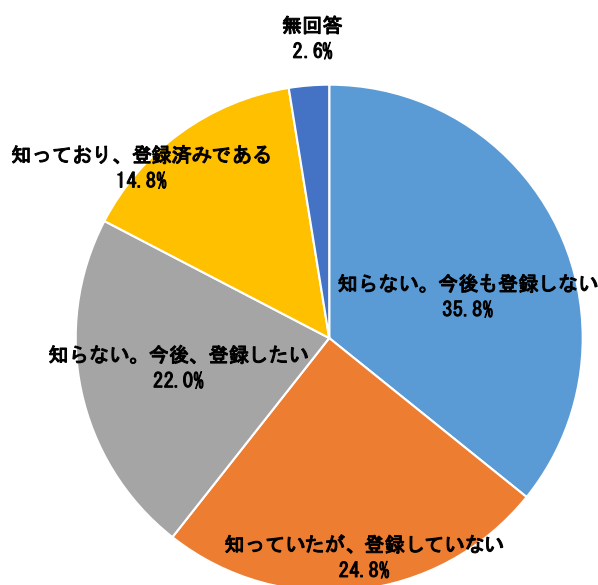
	人数(人)	割合(%)
1 知らない。今後とも登録しない	897	35.8
2 知っていたが、登録していない	622	24.8
3 知らない。今後、登録したい	552	22.0
4 知っており、登録済みである	371	14.8
5 無回答	64	2.6
合計	2,506	100.0

※ 参考 1 「メールねやがわ」「もっと寝屋川」の認知状況

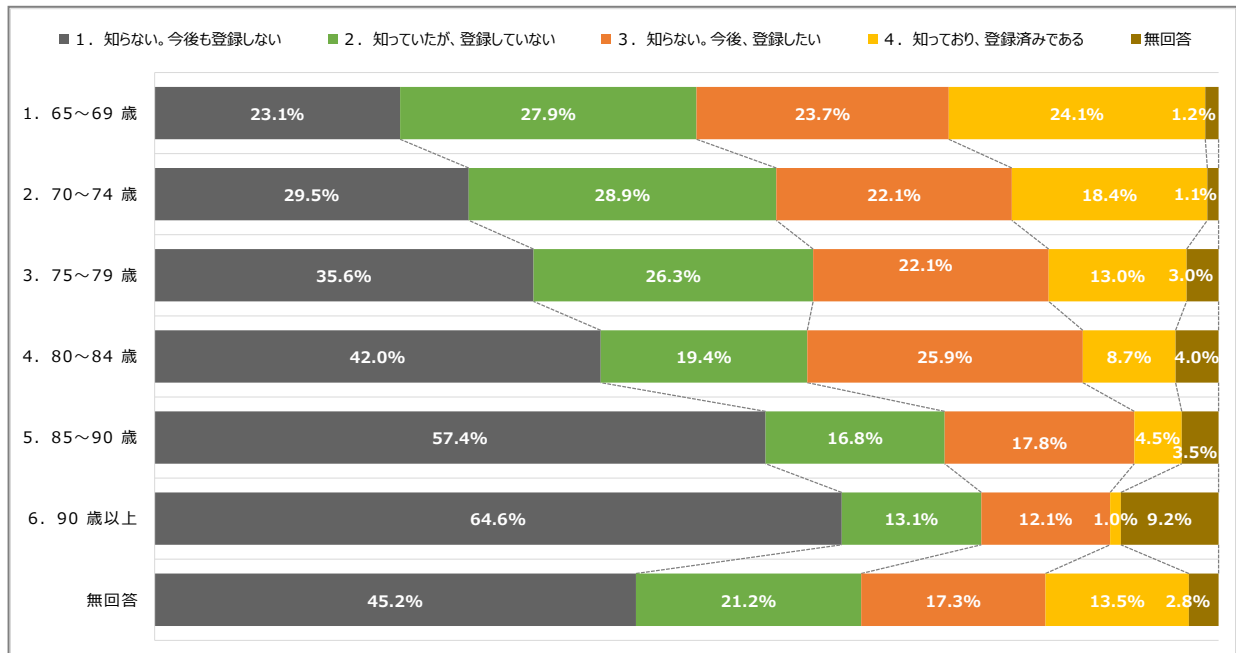
	人数(人)	割合(%)
知らない。(1と3の合計)	1,449	57.8
知っている。(2と4の合計)	993	39.6

※ 参考 2 「メールねやがわ」「もっと寝屋川」の登録状況

	人数(人)	割合(%)
登録していない・今後とも登録しない(1と2の合計)	1,519	60.6
登録済みである・今後、登録したい(3と4の合計)	923	36.8



イ 年代別クロス集計



	1. 知らない。今後も登録 しない	2. 知っていたが、登録して いない	3. 知らない。今後、登録 したい	4. 知っており、登録済みで ある	無回答	合計
1. 65～69 歳	23.1%	27.9%	23.7%	24.1%	1.2%	100.0%
2. 70～74 歳	29.5%	28.9%	22.1%	18.4%	1.1%	100.0%
3. 75～79 歳	35.6%	26.3%	22.1%	13.0%	3.0%	100.0%
4. 80～84 歳	42.0%	19.4%	25.9%	8.7%	4.0%	100.0%
5. 85～90 歳	57.4%	16.8%	17.8%	4.5%	3.5%	100.0%
6. 90 歳以上	64.6%	13.1%	12.1%	1.0%	9.2%	100.0%
無回答	45.2%	21.2%	17.3%	13.5%	2.8%	100.0%

【考察】

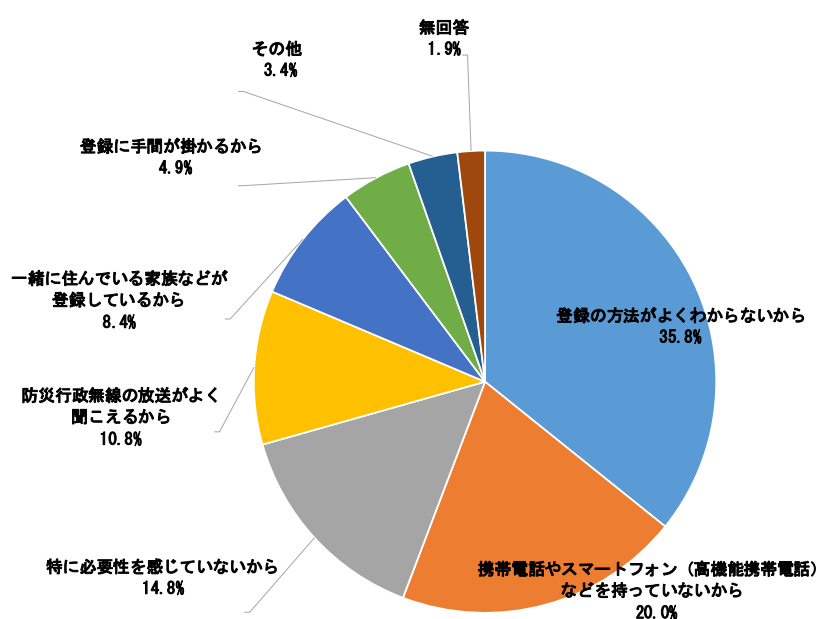
- ・「メールねやがわ」や「もっと寝屋川」を知らない人が約 6 割であることから、より一層、様々な機会を通じて、これらの認知獲得に取り組んでいくことが重要である。
- ・「登録済みである」という方、「今後、登録したい」という登録に前向きな人の合計が約 4 割にとどまっているため、前述の「認知獲得」と併せて、緊急時に有効な情報入手方法となる「メールねやがわ」「もっと寝屋川」を登録して頂く仕掛け・取組も進めていく必要があると考える。

(4) 「知っていたが、登録していない」又は「知らない。今後も登録しない」理由（複数回答）

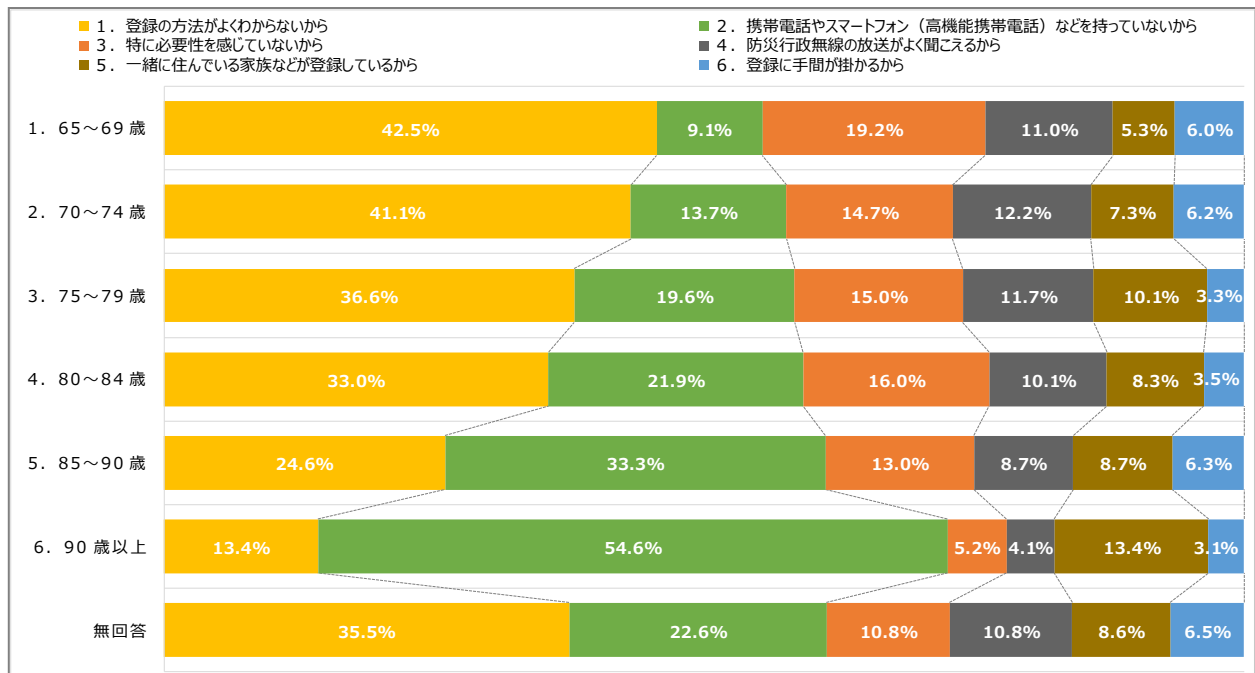
(3)の質問において、「知っていたが、登録していない」又は「知らない。今後も登録しない」と回答した人に対してその理由を聞いたところ、「登録の方法がよくわからないから」が35.8%と最も高く、次いで「携帯電話やスマートフォン（高機能携帯電話）などを持っていないから」が20.0%の順となっている。

	人数(人)	割合(%)
1 登録の方法がよくわからないから	728	35.8
2 携帯電話やスマートフォン （高機能携帯電話）などを持っていないから	407	20.0
3 特に必要性を感じていないから	302	14.8
4 防災行政無線の放送がよく聞こえるから	219	10.8
5 一緒に住んでいる家族などが登録しているから	170	8.4
6 登録に手間が掛かるから	100	4.9
7 その他(登録している家族が転送してくれるから 等)	70	3.4
8 無回答	39	1.9
合計	2,035	100.0

N=2,035



イ 年代別クロス集計



	1. 登録の方法が よくわからない から	2. 携帯電話やス マートフォン （高機能携 帯電話）など を持っていない から	3. 特に必要性を 感じていないか ら	4. 防災行政無 線の放送がよく 聞こえるから	5. 一緒に住んで いる家族などが 登録しているか ら	6. 登録に手間が 掛かるから	7. その他	無回答	合計
1. 65～69 歳	42.5%	9.1%	19.2%	11.0%	5.3%	6.0%	5.3%	1.6%	100.0%
2. 70～74 歳	41.1%	13.7%	14.7%	12.2%	7.3%	6.2%	2.9%	1.9%	100.0%
3. 75～79 歳	36.6%	19.6%	15.0%	11.7%	10.1%	3.3%	2.1%	1.6%	100.0%
4. 80～84 歳	33.0%	21.9%	16.0%	10.1%	8.3%	3.5%	4.2%	3.0%	100.0%
5. 85～90 歳	24.6%	33.3%	13.0%	8.7%	8.7%	6.3%	3.9%	1.5%	100.0%
6. 90 歳以上	13.4%	54.6%	5.2%	4.1%	13.4%	3.1%	5.2%	1.0%	100.0%
無回答	35.5%	22.6%	10.8%	10.8%	8.6%	6.5%	2.1%	3.1%	100.0%

※ 上位 6 項目を抜粋してグラフに記載

【考察】

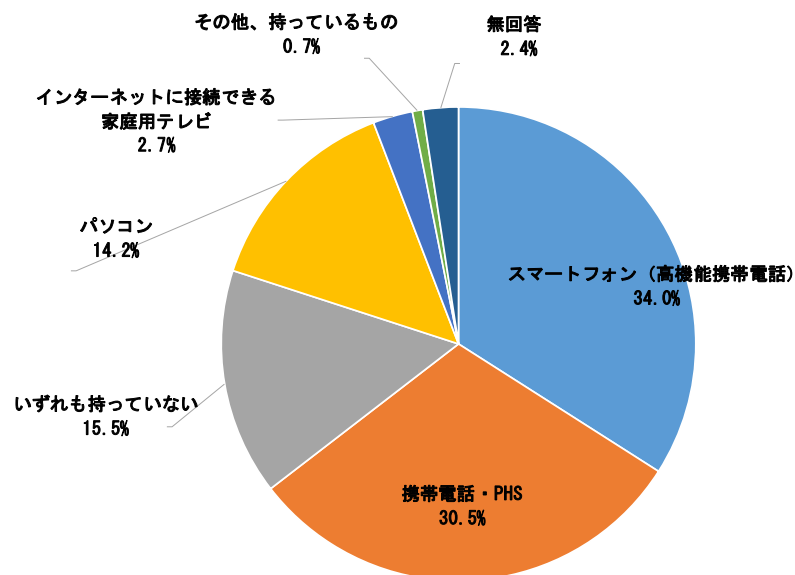
- ・ メールねやがわ等を登録しようと思わないのは、「特に必要性を感じていないから」「防災行政無線の放送がよく聞こえるから」等と回答された合計約 3 割については、メールねやがわ等に対し無関心、若しくは情報入手として頼りにしていない方たちと考えられる。
- ・ また、「登録の方法がよくわからない」「登録に手間が掛かるから」の合計約 4 割については、登録の仕方・方法に何らかの抵抗を感じている方たちと考えられる。
- ・ 緊急時での情報入手方法では、即時性の高い「メールねやがわ」「もっと寝屋川」が優位となることも考えられるため、今後、様々な機会を通じて、その重要性や登録方法について、より分かりやすく説明していくなど、一人でも多くの方に登録して頂き、即時性の高い情報入手媒体を保持していただくことが重要と考える。

(5) あなたが持っている情報通信機器(複数回答)

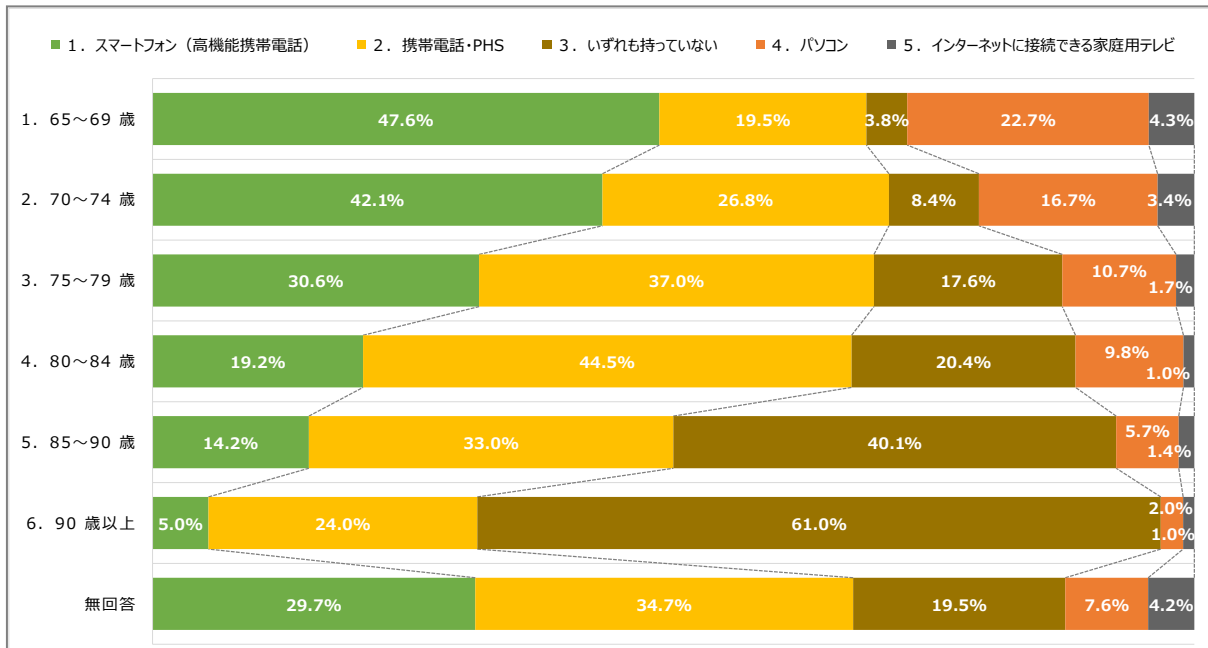
所有する情報通信機器について、「スマートフォン（高機能携帯電話）」が 34.0%と最も高く、次いで「携帯電話・PHS」が 30.5%の順となっている。

	人数(人)	割合(%)
1 スマートフォン（高機能携帯電話）	1,041	34.0
2 携帯電話・PHS	934	30.5
3 いずれも持っていない	473	15.5
4 パソコン	433	14.2
5 インターネットに接続できる家庭用テレビ	83	2.7
6 その他、持っているもの(タブレット端末)	23	0.7
7 無回答	74	2.4
合計	3,061	100.0

N=3,061



イ 年代別クロス集計



	1. スマートフォン (高 機能携帯電話)	2. 携帯電話・PHS	3. いずれも持ってい ない	4. パソコン	5. インターネットに接続 できる家庭用テレビ	6. その他、持っている もの	無回答	合計
1. 65～69 歳	47.6%	19.5%	3.8%	22.7%	4.3%	1.2%	0.9%	100.0%
2. 70～74 歳	42.1%	26.8%	8.4%	16.7%	3.4%	1.0%	1.6%	100.0%
3. 75～79 歳	30.6%	37.0%	17.6%	10.7%	1.7%	0.1%	2.3%	100.0%
4. 80～84 歳	19.2%	44.5%	20.4%	9.8%	1.0%	1.0%	4.1%	100.0%
5. 85～90 歳	14.2%	33.0%	40.1%	5.7%	1.4%	0.5%	5.1%	100.0%
6. 90 歳以上	5.0%	24.0%	61.0%	2.0%	1.0%	0.0%	7.0%	100.0%
無回答	29.7%	34.7%	19.5%	7.6%	4.2%	0.9%	3.4%	100.0%

※ 上位 5 項目を抜粋してグラフに記載

【考察】

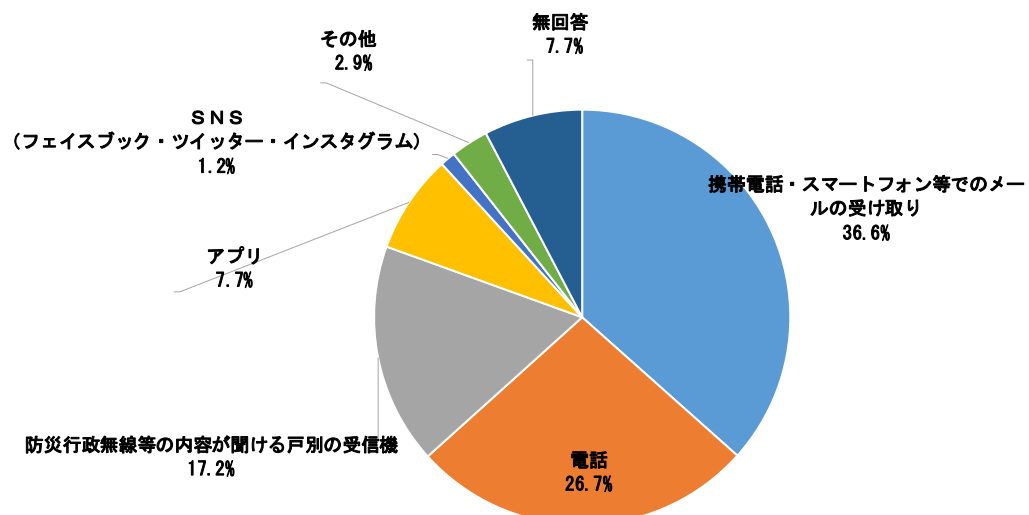
- ・ 日常の情報入手方法として、利便性が高いと考えられるスマートフォン、携帯電話・PHS の所有は、全体でそれぞれ約 3 割となっており、年代別にみると 65 歳から 74 歳までは、スマートフォンの所有が 4 割を超え、一方 75 歳以上になると、スマートフォンより携帯電話・PHS の所有の割合が高くなっている。
- ・ 85 歳以上になると、情報通信機器を「いずれも持っていない」方が 4 割を超えていることから、緊急時においては、情報通信機器を活用しない防災行政無線等での情報発信も重要であるとする。

(6) 市からの緊急情報を入手しやすい媒体（モノ）（複数回答）

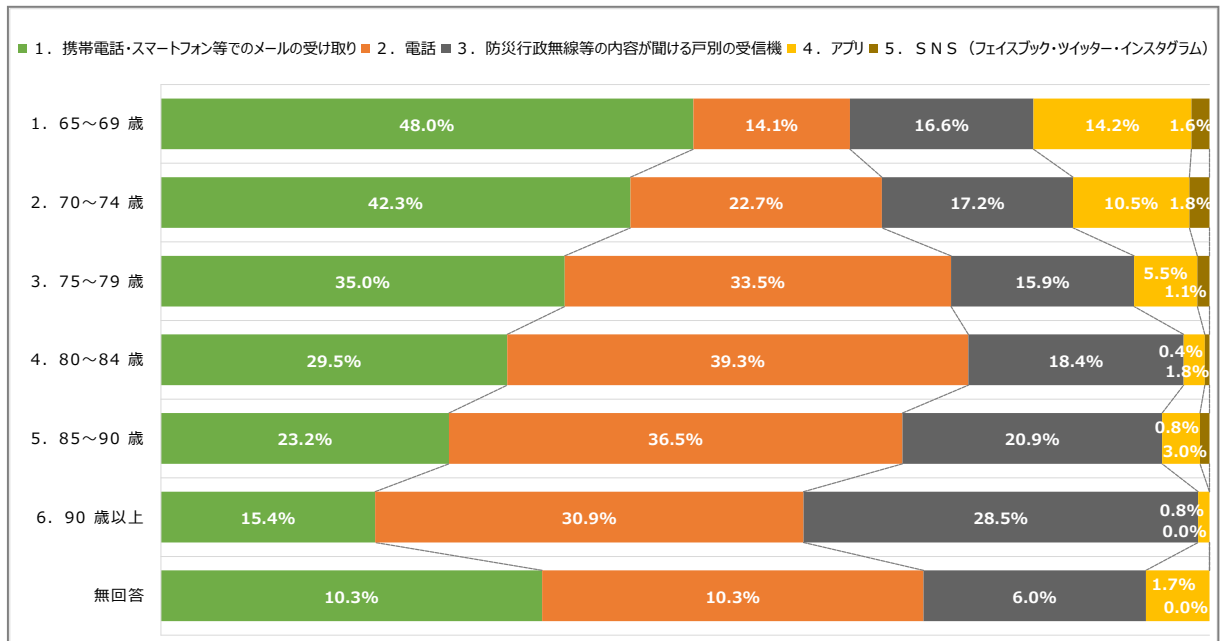
市からの緊急情報を入手しやすい媒体（モノ）について、「携帯電話・スマートフォン等でのメールの受け取り」が 36.6%と最も高く、次いで「電話」が 26.7%の順となっている。

	人数(人)	割合(%)
1 携帯電話・スマートフォン等でのメールの受け取り	1,314	36.6
2 電話	959	26.7
3 防災行政無線等の内容が聞ける戸別の受信機	618	17.2
4 アプリ	276	7.7
5 SNS（フェイスブック・ツイッター・インスタグラム）	43	1.2
6 その他（防災行政無線の音質の向上、地域 FM 局の開設、テレビなどで緊急情報を流す、自治会からの連絡 等）	105	2.9
7 無回答	275	7.7
合計	3,590	100.0

N=3, 590



イ 年代別クロス集計



	1. 携帯電話・スマート フォン等でのメールの 受け取り	2. 電話	3. 防災行政無線等の 内容が聞ける戸別 の受信機	4. アプリ	5. SNS（フェイス ブック・ツイッター・イ ンスタグラム）	6. その他	無回答	合計
1. 65～69 歳	48.0%	14.1%	16.6%	14.2%	1.6%	2.6%	2.9%	100.0%
2. 70～74 歳	42.3%	22.7%	17.2%	10.5%	1.8%	1.8%	3.7%	100.0%
3. 75～79 歳	35.0%	33.5%	15.9%	5.5%	1.1%	2.2%	6.8%	100.0%
4. 80～84 歳	29.5%	39.3%	18.4%	1.8%	0.4%	3.4%	7.2%	100.0%
5. 85～90 歳	23.2%	36.5%	20.9%	3.0%	0.8%	6.1%	9.5%	100.0%
6. 90 歳以上	15.4%	30.9%	28.5%	0.8%	0.0%	10.6%	13.8%	100.0%
無回答	10.3%	10.3%	6.0%	1.7%	0.0%	2.7%	69.0%	100.0%

※ 上位 5 項目を抜粋してグラフに記載

【考察】

- ・ 市からの緊急情報を入手しやすい媒体(モノ)については、「携帯電話・スマートフォン等でのメールの受け取り」が約 4 割、「電話」が約 3 割となっており、普段からの使いやすさ、馴染みのある、既存の身近な媒体を希望されていることが考えられる。
- ・ 一方、メールでの受け取りを希望する割合が高いものの、(3)の質問の調査結果において、「メールねやがわ」「もっと寝屋川」について、「知らない。今後も登録しない」「知っていたが、登録していない」という意見が多くあるため、今後、様々な機会等を通じて、「メールねやがわ」「もっと寝屋川」の利便性、重要性等の理解促進を図るとともに、これらの媒体の登録・利活用の促進を図っていくことが重要と考える。

アンケートに 御協力お願いします

市民の皆様には日頃から本市のまちづくりに御協力いただき誠にありがとうございます。
この度、行政情報の取得状況について、市民の皆様から御意見を伺い、今後の市政運営の参考とするためアンケートを実施します。

このアンケートは、寝屋川市に在住の65歳以上の方で構成される世帯を対象に無作為に3,500人を抽出し、御協力をお願いしています。

お手数ですが、このアンケートに回答いただき、同封の返信用封筒（切手は必要ありません。）に入れ、

10月12日(月)までに

返信くださいますようお願いします。

このアンケートは、無記名で回答いただき、その結果は統計上の資料に限り利用し、市政運営以外の目的で使用することはありません。

御多用のところ恐れ入りますが、本アンケートの趣旨に御理解、御協力をよろしくお願いします。

令和2年9月 寝屋川市長 広瀬 慶 輔

○記入に当たってのお願い○

1. 全部で6問です。（属性を除く。）
 2. 回答は、宛名の御本人をお願いします。
なお、病気などやむを得ない事情によって、御本人が回答できない場合は、同居されている家族の方が回答いただきますようお願いします。
 3. 回答は、当てはまる選択肢の番号に「○」を付けてください。
また、「その他」を選択された場合は、（ ）内にその内容を具体的にお書きください。
 4. 返信用封筒に、住所・氏名を記入いただく必要はありません。
- ※ この調査について、不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

○問合せ先○

寝屋川市 経営企画部 企画二課
TEL:072-825-2019(直通) FAX:072-825-0761
E-mail:kikaku02@city.neyagawa.osaka.jp

問1 あなたは、日ごろ 市の情報をどのように入手していますか。
(複数回答可)

1. 市広報誌
2. 市ホームページ
【 パソコン、スマートフォン(高性能携帯電話)、携帯電話等により、インターネット上で公開されている市の最新の情報内容等 】
3. 市メール「メールねやがわ」
【 本市の情報をインターネットを利用して、パソコン、スマートフォン(高性能携帯電話)、携帯電話等に届けるもの 】
4. 市アプリ「もっと寝屋川」
【 スマートフォン(高性能携帯電話)などに入れて使うもので、市の最新の情報等を確認できる機能(ソフト) 】
5. 市フェイスブック
【 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の一つ。SNSとはインターネットを利用して、人との意思等の相互伝達を行うもの 】
6. 市ツイッター【 SNSの一つ 】
7. 市インスタグラム【 SNSの一つ 】
8. 防災行政無線
9. 公共施設に掲示等されているポスター・チラシ
10. 家族・友人・知人
11. その他()

問2 あなたは、緊急時 市の情報をどのように入手していますか。
(複数回答可)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 市ホームページ | 2. 市メール「メールねやがわ」 |
| 3. 市アプリ「もっと寝屋川」 | 4. 市フェイスブック |
| 5. 市ツイッター | 6. 市インスタグラム |
| 7. 防災行政無線 | 8. 家族・友人・知人 |
| 9. その他() | |

	1つ選び、 番号に○をしてください。			
	知っており、 登録済である	知っていたが、 登録していない	知らない。 今後、登録したい	知らない。 今後登録しない
問3 市では、市メール「メールねやがわ」や市アプリ「もっと寝屋川」で、新型コロナウイルス感染症や安心・安全等に関する緊急情報を発信しています。 このサービスを知っていますか。	1	2 →問4へ	3	4 →問4へ

問4 問3で「知っていたが、登録していない」又は「知らない。今後登録しない」と答えた方にお聞きします。その理由を教えてください。（複数回答可）

1. 携帯電話やスマートフォン（高機能携帯電話）を持っていないから
2. 登録の方法がよくわからないから
3. 登録に手間が掛かるから
4. 一緒に住んでいる家族などが登録しているから
5. 防災行政無線の放送がよく聞こえるから
6. 特に必要性を感じていないから
7. その他()

問5 以下の項目のうち、あなたが持っている情報通信機器を教えてください。（複数回答可）

1. 携帯電話・PHS
2. スマートフォン（高機能携帯電話）
3. パソコン
4. インターネットに接続できる家庭用テレビ
5. いずれも持っていない
6. その他、持っているもの()

1. 携帯電話・スマートフォン等でのメールの受け取り
2. アプリ【スマートフォンなどに入れて使うもので、最新の情報等を確認できる機能】
3. SNS(フェイスブック・ツイッター・インスタグラム)
【インターネットを利用して、人との意思等の相互伝達を行うもの】
4. 電話【自宅の固定電話や個人の携帯電話に、防災行政無線の内容を知らせる】
5. 防災行政無線等の内容が聞ける戸別の受信機
【自宅に居ながら防災行政無線等の内容が聞ける小型機器など】
6. その他 理想等も含め御意見をお願いします。

[illegible]

- 3 -

シルバー世代アンケート調査報告書

令和 2 年 12 月

寝屋川市 経営企画部 企画二課

〒572-8555 大阪府寝屋川市本町 1 番 1 号

TEL 072-825-2019（直通）

FAX 072-825-0761

URL <http://www.city.neyagawa.osaka.jp>

E-mail kikaku02@city.neyagawa.osaka.jp